

苗木250本を 新入社員植樹

雲仙で谷川建設

【島原】長崎市の住宅建設会社、谷川建設(谷川喜一社長)の本年度の新入社員十一人が十二

日、雲仙市国見町の国有林で、ヒノキなど二百五十本の苗木を植樹した。同社は社会貢献活動の

苗木を植える新入社員

雲仙市国見町



一環として、県内外で森林の再生、保護に取り組んでいる。新入社員の植樹は、環境保全に向けた

森林づくりの公益性を体験で学んでもらおうと今年初めて実施した。

この日はヒノキ二百本、カエデ二十本、山桜三十本の苗木を用意。新入社員たちはくわを入れて穴を掘り、高さ約五十センチの木の根元に土をかぶせた。そばには、「ぬくもりのある家を」「夢をかなえる設計士になる」など一人一人の夢を書いた板も添えた。

山口裕也さん(三三)は「家は一生に一度の買い物。お客さまのたくさん笑顔に役立てるよう、この木と一緒に成長したい」と抱負を話した。